



イーシュワランマ・スクール
Smt. Easwaramma English Medium School, Prasanthi Nilayam

1972年5月6日に没したババの生母イーシュワランマの理想を継承すべく、同年7月20日にブラシャーンティ・ニラヤムに創立されたババの学校。長い間、地元のテルグ語でのみ授業を行う学校だったが、2009年より英語で授業を行う学校となった。

サティヤサイ大学付属の小中高等学校とは別の学校

サイの御教え

イーシュワランマハイスクール開校式の御講話 模範を示して教えなさい

体の各部分には、それぞれ固有の名前と形と働きがあります。どの神経も、筋肉も、関節も、体を維持させるため、成長させるための、独自の役割を持っています。「体」という言葉は、これらすべてをまとめて表しているものです。

それと同じように、「村」という言葉も、「プッタパルティ」「ババが生まれた村」という名前も、個人や家族や共同体がそこでまとまって生活し、働いていることを表しています。

どれか一つの神経か筋肉か関節が病気になるれば、体全体が悪い、効果的な働きは失われます。それと同じように、たとえ村の一人、あるいは一族でも、楽でなく困窮していたり、障害を抱えていたり、病気だったり、寝たきりだったり、必要なものが買えなかったり、無知だったりしたら、村全体にその不幸が感染します。足の指をぶつけると、目は涙を流します。最下層と最貧層が飢えたり、しいたげられたりして

ると、最上層と最富裕層にも影響が及びます。

どの人も同じ「国という一つの体」の互いに補い合う一部であると認識されていた時代には、国には平和があり、田畑には笑いがあり、戸口には花綱が飾られていました。

ところが、今では、体のどの部分も、他の部分に傷を負わせようとしています。何の協力も協同ありません。そして、体は痛みを感じて横たわっています。生きること、幸せに暮らすことは、社会の中で、そして、社会のおかげをもつてのみ、できることです。社会はエゴイズムや貪欲や嫉妬の上で繁栄することはできません。これらは人が他人に牙を向くように仕向けます。

国という一つの体の細胞である村々は、今、こうした恐ろしい病気に悩まされています。そのため、子供たちを正しい道に導くため、そして、大人たちを寛容と奉仕と互いへの愛の模範であれと鼓舞するために、この学校は設立されました。真理、善、正義、愛によって、この村に喜びと平和を取り戻さなければなりません。これらの理想に献身するという姿勢を一人ひとりが身につけて、初めて各自が自分に課せられた

義務を最高の形で果たすことができるのです。

祖国の文化の根を守りなさい

どの村も、四つのアーラヤ（家）を備える必要があります。

第一の家は、ボージャンアーラヤ（食事の家）（食堂や宿屋）です。ここは、手ごろな価格で、清潔で栄養のある食べ物を提供しなければなりません。もちろん、人はそのような食べ物だけを食べているわけではありません。きれいな水と空気がも振り入れ、さらには、目と舌と触覚を通じて食す物も、汚染や毒のないものでなければなりません。

第二の家は、アローギヤアーラヤ（健康の家）（病院）です。これは不可欠なものとなっています。なぜなら、人は健康的な食習慣を持つておらず、それを身につける気もないからです。

第三の家は、ヴィッディヤーアーラヤ（光を照らす知識の家）（学校）です。これは暗闇を遠ざけておくために灯すランプです。学校は、若者を教え、老人を鼓舞し、祖国の文

化の根を守らなければなりません。

第四の学校、デーヴァアーラヤ〔神の家〕（寺社）は、信心、畏敬の念、不動心という血液を、国という一つの体のすみずみまで流れさせます。

村が学校から影響を受けるのと同じくらい、学校も村から影響を受けます。学校で、子供たちは、一年のうち何ヶ月も、毎日数時間、数々の規律と技術を学び、そして、かなりの量の情報を習得します。子供たちは、すでに親や親戚や年長者たちによって、ほとんど取り返しのつかないほどに形作られています。子供は身内の年長者を慕い、彼らの偏見や好みを真似して吸収します。子供は年長者の助言や説教には従わないかもしれませんが、年長者の振る舞いをよく見ていて、それらのほうを重視します。子供は、ごまかしのべールや偽善の覆いを透かして見ることができなのです。

ブツパルティは、世界中で崇められている名前であり、あらゆる国の人々に慰めと安らぎと勇気を与える聖なる言葉となっています。ですが、この村は教育の面では他の村に比べてはるかに遅れています。私はそのことを承知しています。

ですから、私には、何も言う必要も知らせる必要もありません。私は、洪水でしばしばハイスクールのある近隣の場所に行けなくなることを知っています。この村の少年少女は、そこに通うのに何マイルも歩かなければなりません。そのため、それを解決するために、このハイスクールを建てることになりました。

疑心暗鬼に陥ってはならない

私の活動は、宣伝やプロパガンダのためではありませんし、人に喜びを与えるためでもありません！私の活動は、元来、私自身に喜びをもたらすためのものです！私には、人を喜ばせる必要も、承認や感謝を得る必要もありません。なぜなら、私とあなたは別個の存在ではなく、あなたは私であり、私はあなただからです。私はすべての電球に流れ込んで電球を照らす電流です。私を別個のものとして見る人は、偽りを見ているのです。私はあなた方のハートの中にいます。あなた方は私のハートの中にいます。疑心暗鬼に陥ってはなりません。犬が吠え、ジャッカルがうなるかもしれないですが、真実は堂々と前進します。

村の人は誰も皆、それぞれ独特の色合いと香りのある花です。花々は集められ、つなげられて、主の花輪になります。すべての花を貫き、すべての花をつなげ、花々に主の魅力を高めることができるようにさせている糸は、ブラフマースートラ、すなわち、ブラフマンと呼ばれる一つにする糸です。この真実は万人に明らかにされなければなりません。一人ひとりが失敗にも成功にも立ち向かうことのできる信心を持つことができるよう、この真実はハートに刻まれなければなりません。これはこの学校の内的な目的です。

これはこの学校が保証する贈り物です。けれども、贈り物が無駄に使われたり、捨てられたりすることなく、最大限に活用されたときにだけ、贈り主は幸せな気持ちになるのです。知性と感謝の気持ちを持って受け取られたときにだけ、贈り主はまた贈りたい、もっと与えたいという気になるのです。この地域の必要に応じるために、この学校を大学まで引き上げようという意向はありますが、大学は、インドのすべての州に見られる、同類のサティヤサイの高等教育の体系にある他校と提携することができます。

英知だけが平安をもたらすことができます

誰も飢えに苦しむことのないように、この村に有益な雇用の機会を設けようという計画もあります。意向はありますが、その実現はあなた方の熱意と信念しだいです。

薬は効きますし、手の届くところにありますが、薬を飲んで、きちんと処方箋のとおりにしなければ、薬で治すことはできません！ぼうつと空想をして時間を無駄にしてはなりません。そうする代わりに、身をもってあなたの誠実さと信心を示しなさい。つまり、子供を学校に通わせ、子供の勉強を手助けし、進歩に必要なとされる環境を子供に提供しなさい。

銀行の金庫にはたくさんのお金がありますが、そのお金はあなたにとって何の役に立ちますか？そのお金のことを話しても、あなたの貧困を取り除くことはできません。働くことだけが収入をもたらすことができ、英知だけが平安をもたらすことができます。

親への感謝は基礎的な美徳です。親への敬意は、過去への敬意であり、過去の伝統への敬意、過去が集めて保存してきた偉大な英知の宝物への敬意です。私は自分が模範を示すこ

とでこのメッセージを広めています。

間もなく村にできあがるカッリヤーナマндаバム〔結婚式場〕は、「父」を記念するものです。皆さんも知つてのとおり、彼はこの村の最善のために熱心に奉仕しました。そのマндаバム〔式場〕は、宗教的な儀式と霊的な理想の普及のためのコミュニティーセンターになります。この学校は「母」を記念するものです。

私がよく言っているように、私の人生は私のメッセージです。私は、「真実を語りなさい、正しく行動しなさい、母を神として敬いなさい、父を神として敬いなさい、師を神として敬いなさい」というウパニシャッドの訓戒を、再び強調してきました。私は、言葉だけでなく、行動でも強調しています。あなた方は、自分の技術と収入と知性を両親への奉仕に捧げ、子としての義務を果たさなければなりません。もしこれを怠っているなら、あなたはインド人としての栄光、人間としての栄光に値しません。

プッタパルティ村にて

一九七二年七月二十日

Sathya Sai Speaks Vol.11 Ch43



ガネーシャチャトルティ祭の前日、2012年9月18日から
イーシュワランマスクール校長室の玉座と写真に現われた
ヴィブーティ〔神聖灰〕の祝福



19 サイの御教え